

女性研究者研究活動支援事業（拠点型）

(実施期間：平成 25～27 年度)

実施機関：金沢大学（総括責任者：山崎 光悦）

プロジェクトの概要

(1) 体制及び活動内容

金沢大学が有する学術ネットワーク及び企業連携体制を生かした北陸初の女性研究者支援ネットワーク（Hokuriku Women Researcher's Network）を構築し、大学のみならず、地域全体での女性研究者支援体制を整える。また、ネットワーク内では、「金沢大学人材バンク」の共有化、合同ワークショップ及び合同シンポジウムの開催、共同研究スタートアップ支援の実施、研究倫理教育、女子学生に対する企業インターンシッププログラムによる支援、企業の女性技術者のリカレント教育の実施を図るとともに、エンカレッジのための女性賞を設ける。

(2) 普及対象となる機関

「大学コンソーシアム石川」に加盟する石川県内 20 高等教育機関、富山大学、福井大学、協力企業、石川県公設試験研究機関。

(1) 評価結果

| 総合評価 | 目標達成度 | 取組 | 取組の成果 | 実施体制 | 実施期間終了後の取組の継続性・発展性 |
|------|-------|----|-------|------|--------------------|
| A | a | a | a | a | a |

総合評価：A（所期の計画と同等の取組が行われている）

(2) 評価コメント

実施機関を中心とした、北陸地域における初の女性研究者ネットワークを構築し、北陸地域のリソースを最大限に活かして、意識啓発や情報交換を進める女性研究者交流プラットフォームを形成したことは評価できる。また、女性研究者による共同研究を推進し、実施機関はもとより、連携機関においても、女性研究者の増加や女性研究リーダーの育成に繋げており、実施機関においては、女性部局長が大幅に増加しており、今後の女性研究者の活躍促進が期待できる。

- **目標達成度**：女性研究者の採用数及び在籍数、女性部局長数ともに大幅に増加したことは評価できる。女性研究者の採用比率、在籍比率等は目標値に達していないが、研究者全体の採用数及び在籍数が所期の計画から大きく増加したことが要因であり、女性研究者の増加に向けて計画的に取り組んでいると判断できる。女性研究者ネットワークを介した連携機関との連携した取組に関する目標については、概ね達成されており、評価できる。
- **取組**：学長のリーダーシップにより、女性研究者を多数採用するとともに、女性研究者に対する研究支援を積極的に行うとともに、北陸地域初の女性研究者ネットワークを構築し、共同研究のスタートアップ支援、合同研究ワークショップの開催、企業の女性研究者向けのリカレント教育等を実施したことは、評価できる。
- **取組の成果**：実施機関はもとより、連携機関を含めた北陸地域全体で女性研究者支援への機運

が高まり、女性研究者の増加、管理職への登用、共同研究の推進、大型研究資金の獲得、科学研究費補助金採択件数の増加などの成果が上がっており、評価できる。

- **実施体制**：学長が方針を決定し、「男女共同参画推進委員会」の承認の下、「男女共同参画キャリアデザインラボラトリー」のラボラトリー長、専任教員、各部局からのラボラトリー教員等による具体的な取組を推進する実施体制が整備されたことは、評価できる。また、実施機関を中心として企業を含む多くの連携機関が女性研究者ネットワークを構築し、普及促進会議を介して取組の普及に努める普及促進体制を構築したことは、評価できる。
- **実施期間終了後の取組の継続性・発展性**：実施期間終了後も、取組を継続するための十分な自主財源が確保され、取組が継続されており、評価できる。また、新たな連携機関の加入により、ネットワークは拡大しており、また、実施機関と連携企業による連携講座も実施機関で開設される予定であり、取組の発展性も期待できる。